

がん放射線療法看護認定看護師の看護実践に関する実態調査



研究分担者 荒尾 晴恵¹⁾
 研究協力者 藤本 美生²⁾、青木 美和¹⁾、山本 瀬奈¹⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科
²⁾兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター

結果 対象者の概要(n=205)

看護師経験年数は平均23.7±SD6.6年、資格取得後年数は平均6.8±SD3.5年であった。

項目	n	%	項目	n	%
性別			看護基礎教育機関		
女	190	92.7	専門学校	128	62.4
男	15	7.3	短期大学	34	16.6
がん放射線CN以外の取得資格の有無			4年制大学	16	7.8
なし	169	82.4	専修学校	12	5.9
あり	30	14.6	大学院	9	4.4
内訳 *複数回答			その他	4	2.0
核医学診療看護師	6	20.0	所属施設		
INE	5	16.7	病院	199	97.1
介護支援専門員	4	13.3	教育機関(教員)	3	1.5
特定行為看護師	3	10.0	訪問看護ステーション	1	0.5
内視鏡技師	3	10.0	その他	2	1.0
がん看護CNS	1	3.3			
摂食嚥下障害看護CN	1	3.3			

INE:インターベンションエキスパートナース, CNS:専門看護師, CN認定看護師
 欠損値のために合計が100%に満たない場合がある

調査概要

目的:がん放射線療法看護認定看護師の放射線治療看護実践に関する実態を明らかにすること

対象:がん放射線療法看護認定看護師310名

方法:公益社団法人日本看護協会のホームページに登録のあるがん放射線療法看護認定看護師を抽出し、無記名自記式質問紙調査を行った。郵送にて依頼を行い、回収は質問紙の返送、または、Googleフォームを用いたWEB調査票への入力とした。

分析方法:記述統計および単変量解析(Spearmanの順位相関、Mann-WhitneyのU検定)

結果 所属施設の概要 (n=199)

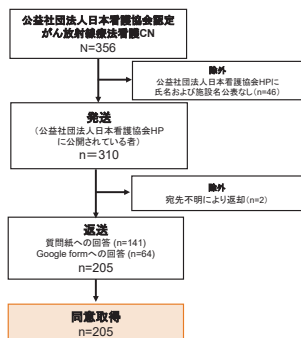
■ 施設における対象者の職位・配属先

項目	n	%
院内での職位		
スタッフ	103	50.2
主任	35	17.1
副看護師長	47	22.9
看護師長	8	3.9
その他	4	2.0
主たる配属先 *複数回答		
放射線科外来	112	56.3
病棟	36	18.1
検査部門	18	9.0
一般外来	18	9.0
緩和ケアチーム	8	4.0
がん相談支援センター	2	1.0
地域連携関連部門	1	0.5
その他	8	4.0

■ 施設の概要

項目	n	%
病院機能 *複数回答		
がん診療連携拠点病院	153	76.9
地域医療支援病院	29	14.6
特定機能病院	19	9.5
その他	3	1.5
設置主体		
国	49	24.6
都道府県/市町村/国立大学法人	75	37.7
公益法人	15	7.5
医療法人	13	6.5
学校法人	21	10.6
その他	22	11.1
病床数		
200-399床	37	18.6
400-599床	81	40.7
600床	79	39.7

結果 質問紙の回収状況



対象者 205名
 内訳
 質問紙問紙への回答 141名
 Google formへの回答 64名
 回収率 66.1%

結果 活動時間と実践活動の関連(n=199)

	有害事象 説明	治療スケ ジュール 調整	再発性確保 の説明	照射中の ケア	急性期有害 事象の症状 に対する マネジメント	急性期有害 事象に 対する 患者のセ ルフケア 支援	晩期有害 事象の 出現時の 対応方法 の説明	心理的 サポート	家族への 説明の 調整
実践	.225**	.365**	.239**	.282**	.210**	.169*	.204**	.197**	.275**
指導	.260**	.290**	.269**	.238**	.161*	.100	.226**	.028	.132
相談	.209**	.282**	.299**	.196*	.161*	.145	.163	.085	.274**
その他	.009	.099	.029	.160	.079	.130	.096	.055	.002

Spearmanの順位相関係数 *p<0.05, **p<0.01

がん放射線療法看護CNとしての実践活動の確保により
 専門性の高い看護実践の充実が図れる

結果 活動時間と看護部内の活動・横断活動の関連(n=199)

■ 活動時間と看護部内の活動の関連

	看護の質の均一化	医療被曝を最小限にする取り組み
実践	.205	.028
指導	.239**	.242**
相談	.306**	.257**
その他	.245	-.012

看護部内の活動、横断活動の充実のためには指導・相談の時間確保が必須！

■ 活動時間と横断活動の関連

	治療計画立案のコンサルへの参加	再現性確保の体位を多職種と共有	有害事象を多職種と共有	患者の状態を多職種と共有	困難事例の相談・協働	コンサルテーションへの対応	倫理的課題を多職種と解決
実践	.181*	.283**	.278**	.254**	.123	.132	.162*
指導	.165*	.181*	.154	.171*	.137	.257**	.294**
相談	.128	.184*	.144	.218**	.170*	.388**	.293**
その他	.131	.181	.119	.126	.075	.277**	.177

Spearmanの順位相関係数 *p<0.05, **p<0.01

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針

新指針	旧指針
II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について 2診療体制 (2)診療従事者 ②専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置 ア・・・ 放射線治療部門に、専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置すること。なお、当該看護師は放射線治療に関する専門資格を有する者であることが望ましい。	II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について 1診療体制 (2)診療従事者 ②専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置 ア・・・ 放射線治療室に専任の常勤看護師を1人以上配置すること。なお、当該看護師は放射線治療に関する専門資格を有する者であることが望ましい。
IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について 都道府県拠点病院は、・・・IIの地域拠点病院の指定要件に加え、次の要件を満たすこと。 1・・・	IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について 都道府県拠点病院は、・・・IIの地域拠点病院の指定要件に加え、次の要件を満たすこと。 1・・・

がん診療連携拠点病院等の整備について
(令和4年8月1日付け健発0801第16号厚生労働省健康局長通知)
(平成30年7月31日付け健発0731第1号厚生労働省健康局長通知)

結果 所属部署と実践活動の関連(n=199)

n	有害事象の発生		治療スケジュール調整		再現性確保の取組		照射中のケア		急性期有害事象に対する患者のセルフケア支援		他部署有害事象発生時の対応方法の取組		心電図		造影剤の投与	
	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p
放射線科 外来	129	3.5±0.7 ***	3.6±0.7 ***	3.6±0.6 ***	3.7±0.6 ***	3.5±0.6 *	3.5±0.6	3.1±0.7 *	3.3±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *	3.6±0.6 *
病棟	67	3.1±0.8	3.0±1.1	3.2±1.0	3.1±1.0	3.3±0.7	3.4±0.7	2.7±0.9	3.1±0.7	3.1±0.8	3.1±0.8	3.1±0.8	3.1±0.8	3.1±0.8	3.1±0.8	3.1±0.8
一般外来	36	2.9±0.9 **	2.7±1.2	3.0±1.0 **	2.8±1.1 **	3.3±0.4	3.3±0.5	2.3±0.7 ***	3.2±0.5	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **	3.0±0.7 **
検査部門	20	3.5±0.7	3.6±0.7	3.6±0.7	3.6±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.1±0.7	3.3±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7	3.5±0.7
緩和ケアチーム	13	3.4±0.8	3.5±1.0	3.5±1.0	3.3±1.0	3.2±0.9 *	3.3±0.9	3.0±0.9	3.2±0.9	3.4±1.0	3.4±1.0	3.4±1.0	3.4±1.0	3.4±1.0	3.4±1.0	3.4±1.0
相談センター	162	3.4±0.8	3.4±0.9	3.5±0.8	3.5±0.8	3.5±0.6	3.5±0.6	3.0±0.8	3.3±0.6	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7
検査部門	20	3.5±0.8	3.5±0.8	3.5±0.8	3.6±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.2±0.8	3.1±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8	3.4±0.8
緩和ケアチーム	183	3.3±0.8	3.4±0.9	3.5±0.8	3.4±0.8	3.5±0.6	3.4±0.6	3.0±0.8	3.3±0.6	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7
相談センター	6	3.7±0.6	3.3±1.2	3.3±0.7	3.3±1.2	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6	3.7±0.6
検査部門	190	3.4±0.8	3.4±0.9	3.5±0.8	3.4±0.8	3.5±0.6	3.4±0.7	3.0±0.8	3.6±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7	3.4±0.7

Mann-WhitneyのU検定 *p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

結果 自由記載

『がん放射線療法CNとして看護実践を行うために必要だと思うこと』に関する自由記載欄を設け、158の記述から以下の5つのテーマが明らかになった。

- ① がん放射線療法CNの社会的意義の強調と普及に向けた取り組み
- ② 組織におけるがん放射線療法CNの役割発揮
- ③ がん放射線療法CN個人の能力開発
- ④ がん放射線療法CNのネットワーク構築
- ⑤ 放射線療法看護の質向上

結果 所属部署と実践活動の関連(n=199)

n	看護の質の均一化		医療被曝を最小限にする取り組み		治療計画立案のコンサルへの参加		再現性確保の取組		有害事象を多職種と共有		患者の状態を多職種と共有		困難事例の相談・協働		コンサルテーションへの対応		倫理的課題を多職種と解決	
	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p	mean±SD	p
放射線科 外来	129	3.0±0.5 **	2.3±0.9	2.7±0.9	3.5±0.6 ***	3.3±0.6 **	3.3±0.6 **	3.3±0.7	3.1±0.8	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7	2.8±0.7
病棟	67	2.7±0.6	2.4±0.8	2.4±1.0	2.8±1.0	2.9±0.8	3.0±0.8	3.1±0.7	3.0±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8	2.7±0.8
一般外来	36	2.7±0.8 *	2.3±0.9	2.0±1.1 **	2.5±1.1 **	2.7±0.9 **	2.8±0.8 **	3.2±0.6	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **	2.7±0.9 **
検査部門	20	2.8±0.4	2.5±0.8	2.6±0.8	3.4±0.8	3.2±0.6	3.2±0.7	3.3±0.7	3.0±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8
緩和ケアチーム	183	2.6±0.5 *	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0	2.2±1.0
相談センター	6	3.0±0.0	2.7±0.6	2.7±0.6	3.0±1.0	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.7	3.1±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6	3.3±0.6
検査部門	190	2.9±0.6	2.4±0.8	2.6±1.0	3.3±0.9	3.1±0.7	3.1±0.7	3.3±0.7	3.0±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8	2.8±0.8

放射線科外来への配置によってがん放射線療法看護CNの看護実践力の発揮に繋がる

Mann-WhitneyのU検定 *p<0.05, **p<0.01, ***p<0.001

結果 自由記載

テーマ① がん放射線療法CNの社会的意義の強調と普及に向けた取り組み

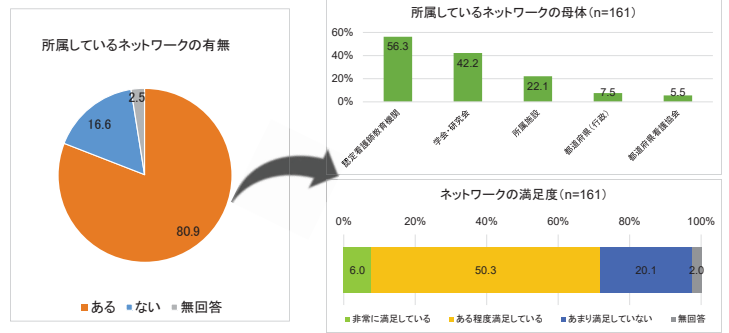
カテゴリ	サブカテゴリ	代表的な記述
放射線CNの活動や普及への後押し	放射線CNの認知度の向上	がん放射線療法CNの認知度が低いことが気になっている。(ID:1045)
	放射線CNとして働くことのメリットの強調	認定看護師の手当 (ID:1136)
	放射線CNの育成	サービス残業的なことや求められる課題が多く、CNを目指したいという後輩がいない。(ID:1096)
診療報酬の算定	放射線CNの活動に対する加算	診療報酬でがん放射線療法認定看護師としての加算項目 診療報酬がつく仕組み一病院の理解が得られる、協力が得られる一活動しやすくなる、後進育成にもつながる。(ID:1100)
	放射線CNの活動に対する加算	診療報酬と紐づいた存在感の主張 (ID:1104)
	放射線治療部門の配属に対する加算	IMRT等、高精度治療を行うときの条件などがん放射線療法CNの専従条件がほしい。(ID:1114)
がん患者指導管理料加算の改正	がん放射線療法認定CNとして自身が、放射線治療室専従看護師として施設登録を行うことで、がん患者指導管理料加算が取れなくなったので、活動が幅広く行えるよう加算要件の改正が必要だと思う。(ID:1127)	

結果 自由記載

テーマ② 組織におけるがん放射線療法CNの役割発揮

カテゴリ	サブカテゴリ	代表的な記述
活動できる時間および場所の確保	活動時間の確保	活動するための時間の確保 (ID:2034)
	放射線治療部門への配置	がん放射線療法CNが放射線治療室、治療計画室、放射線治療科に所属し、そこを拠点に活動できる環境が必要 (ID:2056)
	役割が発揮できる部署への配置	役割を発揮できるような環境、配置 (ID:1039)
がん放射線療法CNの活動に関する周囲の理解と協力	所属施設の管理職・上司・同僚看護師の理解	看護管理者(師長・看護師)が放射線治療部門の看護師の業務への理解が少なく、未だに技師や医師がいれば良いと思っている (ID:1114) 同僚看護スタッフの理解・協力・信頼が得られること (ID:1090)
	他職種との理解	医師・診療放射線技師の理解と支援 (ID:2013)
	協力者を増やすこと	放射線療法看護に関心のある仲間づくり (ID:2035)
専門性の高い放射線療法を提供できる部署・組織作り	放射線療法看護が提供できる看護師の確保	他看護師教育指導を含めて自分の活動を根本的に見直したいと思うが同分野CNは私1人で抱える業務が多すぎる (ID:1065) スタッフ不足であり、CNとしての活動時間が確保できていないのが現状 (ID:1128)

結果 がん放射線療法CNのネットワーク

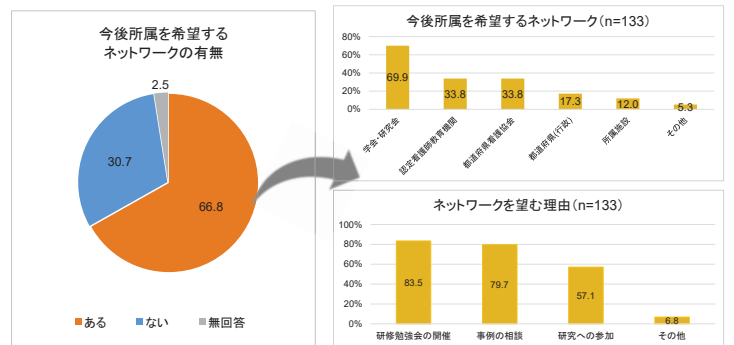


結果 自由記載

テーマ③ がん放射線療法CN個人の能力開発

カテゴリ	サブカテゴリ	代表的な記述
がん放射線療法CNとしての知識・技術のアップデート	放射線療法に関する最新の専門知識	日々進歩する放射線療法の内容、技術に対し自ら積極的に学び、CNとして何をすべきかを考える (ID:1016)
	がん看護に関する最新の知識・技術の獲得	放射線療法に関する知識だけではなく、薬物療法、免疫療法に関する知識をアップデートすること (ID:2054)
	日々の自己研鑽	知識、技術の更新、自己研鑽の継続が必要 (ID:1090)
	コミュニケーション能力	調整や交渉に必要なコミュニケーション能力 (ID:2031)
	人間関係構築のためのスキル	柔軟な人間関係構築のためのスキル (ID:2025)
がん放射線療法CNとして備えておくべき素質・能力	組織における発信力	組織内の発信力 (ID:2011) がん放射線療法CN活用ビジョンの提示 (ID:2024)
	柔軟に対応できる力	柔軟に対応したり、リソースの動きができる力が必要 (ID:1082)
	行動力	広い視野と行動力が必要 (ID:2030)
	倫理的感受性	看護倫理的感受性 (ID:2054)
	がん放射線療法CNとしての信念	自分自身の放射線療法看護に対する信念 (ID:2037)

結果 がん放射線療法CNが今後所属を希望するネットワーク



結果 自由記載

テーマ④ がん放射線療法CNのネットワーク構築

カテゴリ	サブカテゴリ	代表的な記述
がん放射線療法CNのネットワークづくり	相談できる場の確保	相談できる相手が欲しい (ID:1065) 相談窓口のような場所 (ID:2034) 自施設で経験できない症例を学ぶ場 (ID:1065) 最新の治療や有害事象の対応など勉強会や交流 (ID:1085)
	情報共有および学習の場	施設間の情報共有の場が欲しい。認定看護師養成課程の生徒同士で交流はありますが、他施設でどのような活動をされているのかを知り、自施設に必要な活動をきっかけにしたい (ID:1119)
	院内外の放射線CNのネットワーク強化	院内外におけるネットワーク作り (ID:1005) RTCNでのネットワークの強化、充実 (ID:1036)

結果 自由記載

テーマ⑤ 放射線療法看護の質の向上

カテゴリ	サブカテゴリ	代表的な記述
放射線療法に関する看護師への教育の充実	放射線療法看護に関する院内教育の充実	病院内での放射線療法看護の周知 (ID:1134)
	基礎教育における放射線療法看護の教育の充実	日本における放射線療法についての授業時間数が少ないため、基礎教育を身に付けたい。Ns、全体の基礎知識の底上げが必要 (ID:1126)
放射線療法看護の充実	有害事象のケアの充実	有害事象を起こさせないことや最小限にすることのためには患者さんの日常生活について深く知る努力(が必要) (ID:1002)
	治療後のフォローアップ体制の充実	晩期有害事象を含め、治療後の患者が相談できる看護外来を充実させたい (ID:1018)
放射線療法看護実践のためのマンパワーの確保	放射線治療室所属の看護師の増員	放射線治療科に配属される看護スタッフの確保 (ID:1015) 看護実践を行う看護スタッフが必要 (ID:1048)
	その他のがん治療部門との連携	がん治療を受ける、または受けている患者に関連する部署との連携 (ID:2054)
他職種・他部門・地域との連携	地域の医療者との連携	晩期有害事象や、がんサバイバーとなつてからの仕事や地域社会との関わりや医療機関との連携について、フォローアップが必要 (ID:1057)
	多職種協働	医師や放射線技師らとの連携 (ID:2044)

まとめ 質の高いがん放射線治療看護にむけて

<量的な回答から>

- CNとしての実践活動の確保により、専門性の高い看護実践の充実が図れる
- 放射線放射線科外来への配置によって、CNの看護実践力の発揮に繋がる
- 看護部内の活動、横断活動の充実のためには、指導・相談の時間確保が必須である

<質的な回答から>

- がん放射線療法CNの社会的意義の強調と普及に向けた取り組み
- 組織におけるがん放射線療法CNの役割発揮
- がん放射線療法CN個人の能力開発
- がん放射線療法CNのネットワーク構築
- 放射線療法看護の質向上

組織におけるがん放射線療法CNの役割発揮のスキルアップ

- 例) ①組織・看護部の交渉、実践時間確保に向けた取り組み、看護部におけるチーム作り、施設内での放射線治療看護の実践を底上げするため取り組みなどの実践報告等のワークショップの開催
②良い実践例を報告書にして、共有できる資料として作成する

がん診療拠点病院の整備に関する指針
放射線治療部門に、**専従**の放射線治療に携わる 専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置すること。

今後のスケジュール

- | | |
|-------|-------------------|
| 9月 | ワークショップの企画 |
| 10月以降 | ワークショップの開催(1から2回) |
| | ワークショップ前後での調査 |
| | 良い実践事例の資料化 |

ご清聴ありがとうございました

